



データ転送・連携・活用ヘルスチェック診断表

新システムの追加、クラウド環境との連携、法改正の度に発生するシステム更改、有事を想定した災害対策等。情報システム部門では常に新しい課題を抱え対応に追われている日々が続いております。中でもデータの「転送・連携・活用」に対し高度なレベルと安全性、スピードが求められる時代です。担当者の実情はというと、「日々の業務に追われて十分な対応が出来ていない...」というのが本音です。

貴社でも以下の症状(悩み・課題)に心当たりはありませんか？

早期解決に向け、20年来の経験と実績をもつイーセクターが最適な解決策をご用意致します。



安全・確実なデータ転送の実現でお悩みの方へ

- マルチプラットフォーム環境でのデータ転送方式が混在しており、統一されていない
- データ転送だけでなく前後のアプリケーション連携が自動化、統一されていない
- 分散した「外字テーブル」、「コード変換プログラム」が複数あり、メンテナンスに手間がかかっている
- 転送時のデータの暗号化、ログの取得等が出来ておらずセキュリティに不安がある
- オンプレミス環境とクラウド環境間での外接転送においてセキュリティ等に不安が残る



膨大な種類のデータの活用でお悩みの方へ

- 複数に分散しているマスターデータからのデータの抽出・統合作業に日々追われている
- 異なるDB、アプリケーション間でのデータ交換の仕組みが統一されていない
- 1つのデータから異なるファイル形式、フォーマットのデータ作成に多大な工数と時間がかかっている
- 新形式の文字コード(UTF-8、16等)まで含めたコード変換が実現出来ない
- ログ収集・管理時のフォーマットの整形、統一に手間がかかっている

自社内のデータ転送の状況が把握出来ずお悩みの方へ

- 障害時の影響がどのシステム、サーバまで及ぶか？影響範囲が把握出来ない
- 各システム、サーバの運用スケジュールに依存したメンテナンス作業から解放されたい
- HULFTに登録している転送定義の棚卸しを定期的実施したいが、出来ない
- HULFTへの転送定義の登録を手作業で行っており、入力エラー・工数を削減したい
- 障害発生後時に、早急にデータ転送処理が開始出来る仕組みを構築し、安定化させたい

HULFTの購入先、問い合わせ窓口でお悩みの方へ

- HULFTの保守会社が複数あり、問い合わせ先・対応内容がバラバラだ
- HULFTの購入～導入支援～保守まで対応可能な購入先を新たに探している
- 保守契約状況を一元管理し、契約更新手続更新もれを無くしたい
- 開発元からのサポート終了に伴うバージョンアップ等の対応を確実にしたい



1つでも該当する症状があれば、是非、弊社へご相談下さい！！！！

[ご相談窓口: ESECinfo@cec-ltd.co.jp]

